

平成31年度 行政評価事業別シート

実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	元田 敏夫
全体計画						経費区分		-		内線	3613
事務事業名	8237 特別支援学校管理運営事業										
所 属	300100 教育委員会事務局・学校教育課										
施 策	02010700 特色ある魅力的な学校づくりの推進										
予算科目	会計	01 一般会計									
	科目	100401 教育費・特別支援学校費・特別支援学校費									
	事業	010000 特別支援学校管理運営事業									
事業目的						事業概要・効果					
特別支援学校の維持管理や運営に要する経費で、教育環境の維持整備を図る。						特別支援学校の維持管理 学校運営の円滑な実施 教育環境の維持整備					

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
特別支援学校の維持整備、学校運営に要する経費の支出、教育環境の維持整備	特別支援学校の維持整備、学校運営に要する経費の支出、教育環境の維持整備
平成29年度 実績	平成30年度 実績
特別支援学校の維持整備、学校運営に要する経費の支出、教育環境の維持整備	特別支援学校の維持整備、学校運営に要する経費の支出、教育環境の維持整備
平成31年度 予定	令和 2年度 予定
特別支援学校の維持整備、学校運営に要する経費の支出、教育環境の維持整備	特別支援学校の維持整備、学校運営に要する経費の支出、教育環境の維持整備

指標名	無し					
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成30年度 決 算	平成31年度 予 算
事業費		7,811	8,245
特定 財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	685	788
一般財源		7,126	7,457
人員数 (人)	正規職員	0.1	0.1
	嘱託職員	0.5	0.5
	臨時職員	0.0	0.0
人 員 コスト	正規職員	715.0	715.0
	嘱託職員	1,437.5	1,437.5
	臨時職員	0.0	0.0
	計	2,152.5	2,152.5
市民一人当たりの経費		0.2	0.2
総額		9,963.5	10,397.5

(単位：千円)

平成30年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	2,358	消耗品、燃料費、食料費、印刷製本費、修繕料
13節 委託費	321	警備保障委託料
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	110	教科研究会負担金外
その他	5,022	備品購入費、教材備品購入費、役務費、機器賃借料、受信料等

(単位：千円)

平成31年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	2,304	消耗品、燃料費、食料費、印刷製本費、修繕料
13節 委託費	503	警備保障委託料、事務機器保守点検委託料
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	131	教科研究会負担金外
その他	5,307	備品購入費、教材備品購入費、役務費、機器賃借料、受信料等

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	「地域の子どもは地域で育てる」の理念に基づき、学校の適切な管理を行い、特別支援教育の充実を図るために必要不可欠。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	「地域の子どもは地域で育てる」の理念に基づき、学校の適切な管理を行い、特別支援教育の充実を図っている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	学校の設備の状況等、教育的な要望等を十分把握し、効率的な管理運営に努めている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

「地域の子どもは地域で育てる」の理念実現に向け、支援学校の教育充実や環境整備等の管理運営を行った。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
県内唯一の市立特別支援学校を維持していく		地域にある特別支援学校の意義を考えながら、運営する必要がある	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	